

2007年5月31日 看護情報学授業ディスカッション記録

発表者：野田有美子さん 「From Silence to Voice on The Web」

<ディスカッションテーマ>

- ★ みなさんは、Web上で発言してみたいと思いますか？
- ★ Web上で発言するうえで障害になることはなんでしょう？
- ★ どんな機会やどんな場があれば、発言したいと思いますか？Web上で発言するうえでこんなサポートがあったらいいと思うものはありますか？

<発表後の質問・感想、先生からのコメント>

- 看護職は、進路や資格に関することには、自分の通ってきた道と重なるからか、多くの書き込みをする。しかし、それ以外のこととなるとさっぱり書き込みがない。
- OKウェブでは、回答者が「経験者」や「専門家」であることを示しているが、「看護ネット」にある、よろず相談所http://www.kango-net.jp/community/bbs_consul/index.phpでは、回答者が、看護職であることがわかるようにしている。このことには、看護職が良質な回答をするということをアピールしてほしいという願いもある。
- よろず相談所に寄せられた質問と回答のやりとりの一例↓。

http://www.kango-net.jp/community/bbs_consul/detail.php?id=53

この中で、「インターネットでは、情報は利用する側に責任があります。しかし、なかなか自分の決定に責任を負えないからこそ人に相談しているのだと思います。その決定について一緒に考えてくれたり、そのときに話を聞いてくれること、悩みに共感してくれるとありがたいのではと思います。看護師の方にはある意味では冷たいとも感じられる決定的に正確な情報というよりも、何でも相談できるという安心感や、絶対に私たちの味方であるという信頼感を求めたいものです。」という発言がある。

- 今回 OK ウェブで見たものの中には、看護師の回答に対して、「気持ちをくんでくれてありがとうございました」という内容の礼が書き込まれてあった。
- よろず相談所のアクセス数は多いのだが、それに比べて書き込みが少ない。これはどういう意味なのか。
 - ・書き込むということは大変なことである。匿名でもドキドキするものである。
 - ・看護師に期待されていることは、正しい専門的な回答だと思う。医師と看護師とでは、求められている回答の内容は同じなのではないかと思う。
 - ・看護師は、医師のように、専門分野で経験をつみあげていくのとは違う（ジェネラリストという意味？）ので、答えにくいと思う。
 - ・Q&A では、「よき伴走者として共感する」といった内容の回答は書き込みにくいと思う。
- OK ウェブの中では、経験者からの回答に評価が高い。自分と同じ立場の人や、それを経験した人がいるというありがたさ、心強さではないだろうか。そういった場合、自助グループ的な役割があると思われる。

- OK ウェブ、よろず相談所には「相談」という目的もあるが、人間関係やケアといった要素がとても大きいと考えられる。
- 「看護職はこうすべきだ」とか「こうあるべきだ」というのは、他の職種（特に福祉）の方では活発に議論されているが、当の看護職同士では、特に議論されていない。
- （看護職が書き込みをしない理由として）「職業意識」みたいなものもある。看護職として、ウェブ上の質問に回答することで、その回答が、不十分だったり不正確なものであったりすると、看護師全体が悪く見られるかもしれない、という心配が起こる。看護職であることを明かして発言すると、看護を代表しているような気がする。
→そういう心配をする必要はないと思う。
- 「看護師は抑圧されている」と言われる。私が答えなくてもいいのではないか、とか、医師など自分より専門的な人が答えればいいのではないか、と考えてしまう。それを「抑圧」と解釈するかについては議論の余地があるが…。
- 看護職は、直接人に接しないと、その人のことには関われないということもあるのだろうか。また、公共空間でパーソナルな話をするのはどうか、という意識もあるのではないか。
- ウェブ上で、良識的な答えを提供しているのは、産休中、育休中の看護師が多かった。病院等で勤務している看護師にとっては、家に帰ってまで、人の質問に答えたり、相談に乗ったり、また、その関係をどこまで続けていいのかも分からないような対話式の関係の中に入っていくということは、大変だと思う。
- しかし、人気のある個人の看護師のサイトなどでは、看護師同士で、活発な議論や書き込みがされている。
→・看護師同士のやりとりというのであれば、新たな知識が得られたり、愚痴が言えたり、ストレス発散にもなる。病院で働いてへとへとになって、家に帰ってきてまで、ウェブ上の質問に善意で答えてあげようとか、そういうエネルギーがない。
・労働条件の改正が必要とか、そういう話になっていくのではないか…。
- OK ウェブであれば、質問に回答することによって、「ありがとうポイント」というもの（報酬？）がもらえる。
- 回答している医者は、暇なのだろうか。病棟で勤務している医師には無理だと思う。本当に好きなことなら、家に帰ってからも取り組めるのかもしれないが…。